

# 太田商工会議所管内景況調査報告書

(第102回)

2022年 4月～6月期 実績

2022年 7月～9月期 見通し

## 太田商工会議所

〒373-8521 群馬県太田市浜町3-6

TEL 0276(45)2121

FAX 0276(45)1088

URL <http://www.otacci.or.jp>

E-Mail [info@staff.otacci.or.jp](mailto:info@staff.otacci.or.jp)

# 太田商工会議所 景況調査 目次

調査要項・・・・・・・・・・・・・・・・	1
調査目的や対象企業（業種）、回答率など	
設問に対する業種別回答・・・・・・・・	2
9つの質問に対する業種別による回答状況	
業種別D I 値について・・・・・・・・	5
6つの業種ごとのD I 値及び回答企業からのコメント	
全体D I 値について・・・・・・・・	9
全ての業種を併せたD I 値と1年間の推移	
比較資料編・・・・・・・・・・・・・・・・	10
同様の景況調査を行っている機関とのデータ比較 （中小企業基盤整備機構、日本商工会議所LOBO調査、日銀短観）	

## 【調査要項】

### 1. 目的

管内経済動向を把握し、併せて経営者への情報提供とするとともに、今後の経営指導の資料とする。

### 2. 調査時点及び対象期間

- ① 調査時点 2022年6月
- ② 調査対象期間 今期（2022年4月～6月期）に対する前期（2022年1月～3月期）及び前年同期（2021年4月～6月期）との比較実績、並びに今後3ヶ月間の業況見通しについて調査。

### 3. 調査対象

当所会員事業所の業種を5つ（製造業、建設業、卸売業、小売業、サービス業）に分類し、製造業に関しては、更に「輸送機器」と「その他製造業」に分けた。

調査対象先の企業数については、太田商工会議所会員事業所の業種割合にて按分し、下記の通り調査を実施した。

### 4. 回答状況

	依頼数		回答数	回答率
全 体	270	→	237	87.8 (%)
輸送機器	40	→	36	90.0 (%)
その他製造	40	→	37	92.5 (%)
建設業	50	→	44	88.0 (%)
卸売業	30	→	28	93.3 (%)
小売業	40	→	31	77.5 (%)
サービス業	70	→	61	87.1 (%)

### 5. D I 値について

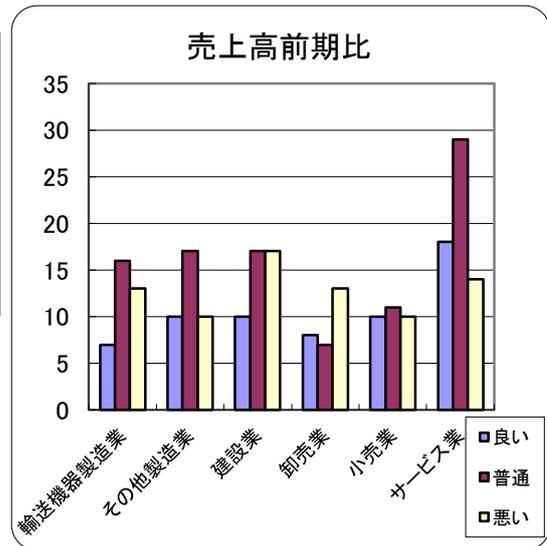
D I とは、ディフュージョン・インデックス (Diffusion Index) の略で、良い（増加）と答えた企業の割合から、悪い（減少）と答えた企業の割合を引いたもので、企業経営者の景況判断をみる指標である。

(例：ある設問において、「良い」と答えた企業…15% 「悪い」と答えた企業…25%の場合、D I 値は▲10.0となる。)

## (1)設問に対する業種別回答

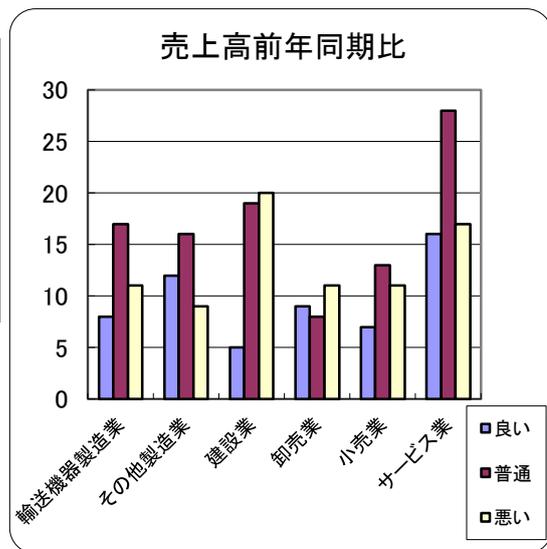
### 売上高前期比

	良い	普通	悪い	合計	DI値
輸送機器製造業	7	16	13	36	▲ 16.7
その他製造業	10	17	10	37	0.0
建設業	10	17	17	44	▲ 15.9
卸売業	8	7	13	28	▲ 17.9
小売業	10	11	10	31	0.0
サービス業	18	29	14	61	6.6
合計	63	97	77	237	▲ 5.9



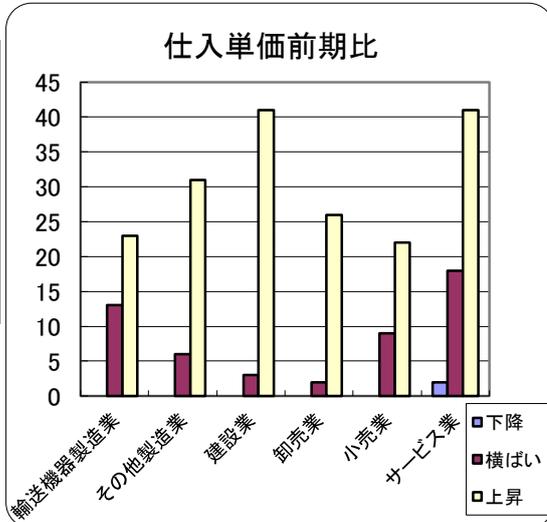
### 売上高前年同期比

	良い	普通	悪い	合計	DI値
輸送機器製造業	8	17	11	36	▲ 8.3
その他製造業	12	16	9	37	8.1
建設業	5	19	20	44	▲ 34.1
卸売業	9	8	11	28	▲ 7.2
小売業	7	13	11	31	▲ 12.9
サービス業	16	28	17	61	▲ 1.6
合計	57	101	79	237	▲ 9.3



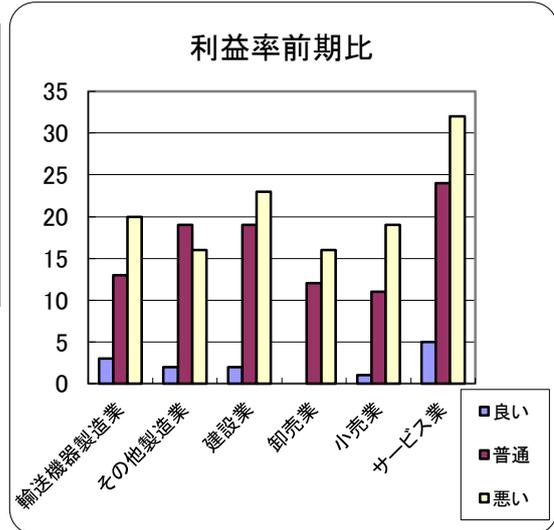
### 仕入単価前期比

	下降	横ばい	上昇	合計	DI値
輸送機器製造業	0	13	23	36	▲ 63.9
その他製造業	0	6	31	37	▲ 83.8
建設業	0	3	41	44	▲ 93.2
卸売業	0	2	26	28	▲ 92.9
小売業	0	9	22	31	▲ 71.0
サービス業	2	18	41	61	▲ 63.9
合計	2	51	184	237	▲ 76.8



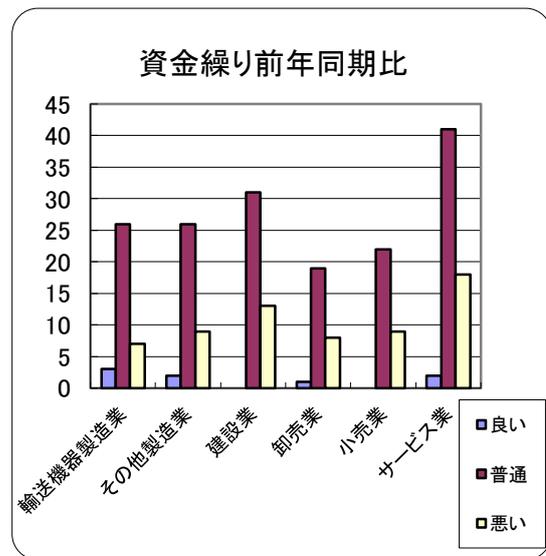
### 利益率前期比

	良い	普通	悪い	合計	DI値
輸送機器製造業	3	13	20	36	▲ 47.2
その他製造業	2	19	16	37	▲ 37.8
建設業	2	19	23	44	▲ 47.7
卸売業	0	12	16	28	▲ 57.1
小売業	1	11	19	31	▲ 58.1
サービス業	5	24	32	61	▲ 44.3
合計	13	98	126	237	▲ 47.7



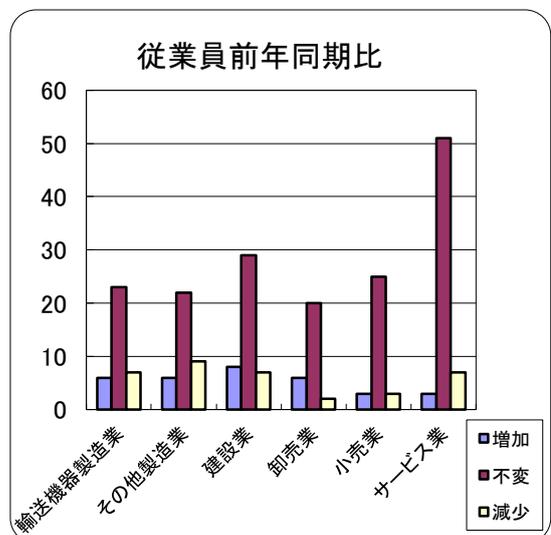
### 資金繰り前年同期比

	良い	普通	悪い	合計	DI値
輸送機器製造業	3	26	7	36	▲ 11.1
その他製造業	2	26	9	37	▲ 18.9
建設業	0	31	13	44	▲ 29.6
卸売業	1	19	8	28	▲ 25.0
小売業	0	22	9	31	▲ 29.0
サービス業	2	41	18	61	▲ 26.2
合計	8	165	64	237	▲ 23.6



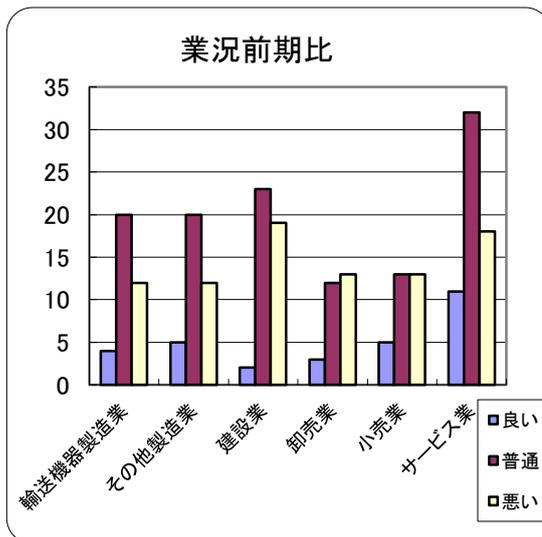
### 従業員前年同期比

	増加	不変	減少	合計	DI値
輸送機器製造業	6	23	7	36	▲ 2.8
その他製造業	6	22	9	37	▲ 8.1
建設業	8	29	7	44	2.3
卸売業	6	20	2	28	14.3
小売業	3	25	3	31	0.0
サービス業	3	51	7	61	▲ 6.6
合計	32	170	35	237	▲ 1.3



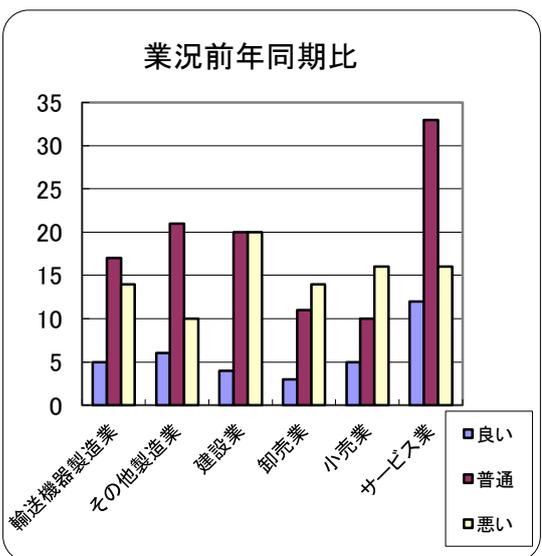
### 業況前期比

	良い	普通	悪い	合計	DI値
輸送機器製造業	4	20	12	36	▲ 22.2
その他製造業	5	20	12	37	▲ 18.9
建設業	2	23	19	44	▲ 38.6
卸売業	3	12	13	28	▲ 35.7
小売業	5	13	13	31	▲ 25.8
サービス業	11	32	18	61	▲ 11.5
合計	30	120	87	237	▲ 24.1



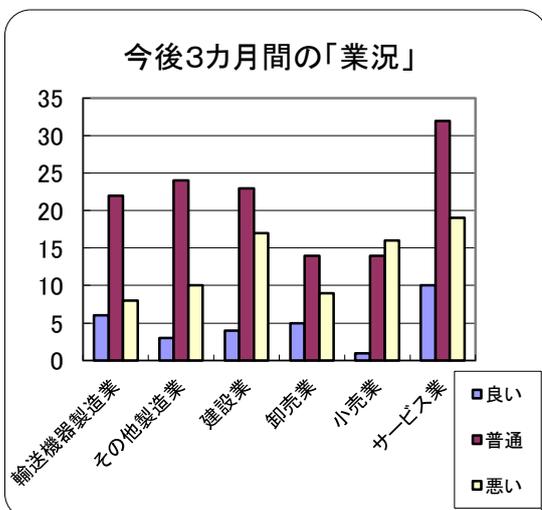
### 業況前年同期比

	良い	普通	悪い	合計	DI値
輸送機器製造業	5	17	14	36	▲ 25.0
その他製造業	6	21	10	37	▲ 10.8
建設業	4	20	20	44	▲ 36.4
卸売業	3	11	14	28	▲ 39.3
小売業	5	10	16	31	▲ 35.5
サービス業	12	33	16	61	▲ 6.6
合計	35	112	90	237	▲ 23.2



### 今後3ヶ月間の「業況」見通し

	良い	普通	悪い	合計	DI値
輸送機器製造業	6	22	8	36	▲ 5.6
その他製造業	3	24	10	37	▲ 18.9
建設業	4	23	17	44	▲ 29.6
卸売業	5	14	9	28	▲ 14.3
小売業	1	14	16	31	▲ 48.4
サービス業	10	32	19	61	▲ 14.8
合計	29	129	79	237	▲ 21.1



## (2)業種別DI値について

輸送機器	前期(1~3月期)	今期(4~6月期)	比較増減
売上高前期比	▲ 58.6	▲ 16.7	41.9
売上高前年同期比	▲ 62.1	▲ 8.3	53.8
仕入単価前期比	▲ 69.0	▲ 63.9	5.1
利益率前期比	▲ 58.6	▲ 47.2	11.4
資金繰り前年同期比	▲ 37.9	▲ 11.1	26.8
従業員前年同期比	▲ 31.0	▲ 2.8	28.2
業況前期比	▲ 65.5	▲ 22.2	43.3
業況前年同期比	▲ 79.3	▲ 25.0	54.3
今後3ヶ月間の業況見通し	▲ 3.5	▲ 5.6	▲ 2.1

### [企業コメントより]

- ・コロナやウクライナとロシアの戦争の為、部品が入ってこない。仕事が続かない【自動車部品製造】
- ・上海のロックダウンによる部品調達難により、春先に生産台数が減少し、その影響を受けている【自動車用樹脂製品】
- ・生産の減少や延期が目立っている。素材(材料)価格が毎月のように上昇、kgあたりの単価で、前年同月の約1.4~1.6倍くらいの価格になっている(鉄材・ステンレスはもっと上昇している)。今後3か月間の見通しを「変わらず」としたが希望的なところが多い。マイナス要因が多すぎる【自動車部品製造】。
- ・自動車生産が未だに半導体不足を脱していないところに、コロナウイルスによる中国のロックダウンも加わり、影響がモロに出ている為【自動車部品製造】
- ・上海のロックダウンにより部品の不足が発生。半導体不足による大手自動車会社の休業等もあり部品の生産が減少したためか【自動車用樹脂製品】

その他製造業	前期(1~3月期)	今期(4~6月期)	比較増減
売上高前期比	▲ 35.3	0.0	35.3
売上高前年同期比	▲ 14.7	8.1	22.8
仕入単価前期比	▲ 79.4	▲ 83.8	▲ 4.4
利益率前期比	▲ 47.1	▲ 37.8	9.3
資金繰り前年同期比	▲ 14.7	▲ 18.9	▲ 4.2
従業員前年同期比	▲ 11.8	▲ 8.1	3.7
業況前期比	▲ 50.0	▲ 18.9	31.1
業況前年同期比	▲ 35.3	▲ 10.8	24.5
今後3ヶ月間の業況見通し	▲ 14.7	▲ 18.9	▲ 4.2

### [企業コメントより]

- ・部材欠品のケースは当社にも有りますが、今後顧客ニーズが継続して増加している状況の為、当社も増産対応を予定しております【電子部品製造】
- ・円安傾向なので海外生産から国内生産へと流れが変化して来ているようです。少しでも多く生産したいところですが原料が無い【ニット製品製造】
- ・海外リスク、円安の為、国内回帰の兆候が出てきた【ニット製品製造】
- ・この先(改善)の見通しはあるが、少し時間がかかります【電気製品製造】
- ・電気料金等の値上げにより経費負担増となるため業績予想が難しい【電気製品钣金加工】
- ・一部に明るい兆しがあるものの、全体的には悪い。秋以降に回復する見込み【省力化機械製造】。
- ・4月よりコロナも収まったかに見え、一安心していたところ、急激な円安により輸入原材料が高騰し、値上げラッシュ状態である。政府から何ら対策が講じられない中で、企業は製品単価に反映せざるを得ず、第2段、第3段の値上げを検討中である【食料品製造】

・5月の売上高が非常に悪く、ずっと不況が続いている。コロナ前にはGW前後に仕事量が増える傾向があったが、今は仕事量が増えなくなった。弊社は孫請けの為、お客様の仕事量が満たされないとなかなか仕事が下りてこない。自動車関係の開発が後ろにずれ込んでいるという話もあるので、7月以降期待をしたいが、先が見えない状況が続いている。資金繰りが心配【樹脂製品加工】

・資材価格の上昇と入手困難【梱包用資材製造】

建設業	前期(1~3月期)	今期(4~6月期)	比較増減
売上高前期比	▲ 26.7	▲ 15.9	10.8
売上高前年同期比	▲ 46.7	▲ 34.1	12.6
仕入単価前期比	▲ 80.0	▲ 93.2	▲ 13.2
利益率前期比	▲ 57.8	▲ 47.7	10.1
資金繰り前年同期比	▲ 22.2	▲ 29.6	▲ 7.4
従業員前年同期比	▲ 6.7	2.3	9.0
業況前期比	▲ 42.2	▲ 38.6	3.6
業況前年同期比	▲ 53.3	▲ 36.4	16.9
今後3ヶ月間の業況見通し	▲ 31.1	▲ 29.6	1.5

[企業コメントより]

・公共事業の減少【土木工事】

・鉄・木材の価格が落ち着かない【総合建設業】

・極端に仕入価格が上昇していて、難しい局面に近づきつつある【土木工事】

・例年夏季は業績が上がります。しかし10~12月期の予想は読めない状況です【建設付帯工事】

・材料の値上がり、ガソリン等の値上がり、個人の努力ではもう厳しい状況です。せめて現状維持でいければ【建設付帯工事】

・材料上昇分が価格に転嫁できない。仕事の波が大きい【電気工事】

卸売業	前期(1~3月期)	今期(4~6月期)	比較増減
売上高前期比	▲ 20.0	▲ 17.9	2.1
売上高前年同期比	▲ 20.0	▲ 7.2	12.8
仕入単価前期比	▲ 90.0	▲ 92.9	▲ 2.9
利益率前期比	▲ 45.0	▲ 57.1	▲ 12.1
資金繰り前年同期比	▲ 25.0	▲ 25.0	0.0
従業員前年同期比	25.0	14.3	▲ 10.7
業況前期比	▲ 40.0	▲ 35.7	4.3
業況前年同期比	▲ 40.0	▲ 39.3	0.7
今後3ヶ月間の業況見通し	▲ 25.0	▲ 14.3	10.7

[企業コメントより]

・営業エリアを絞って、グループ編成をし4人体制のチームとして集中的に活動するようにした。その結果ユーザーとのコンタクトが多くなり信頼感ができたため、売上が伸びるようになった。【医療機器卸】

・商品不足と値上がりが続いている(メーカーの受注制限もある)。このため得意先は材料支給の仕事にシフトしていて、(当社からの)自社調達が無いため当方の受注は激減となる。輸送費・燃料費も上がり、諸経費の負担分を売価に転嫁できない悩みもある。そろそろ本当に厳しくなった!!【電気資材卸】

・住宅リフォームの件で、受付して申込までの期間が長すぎます。商品の遅れや部品が入荷しないなど、あらゆる商品の値上げに落ち付けない状態です。(中略)もっと素早く手続きが出来るようにして頂きたいです。【住宅資材卸】

・ウクライナVSロシア(の戦争) 早く終わって欲しいです【木材卸】

小売業	前期(1~3月期)	今期(4~6月期)	比較増減
売上高前期比	▲ 45.2	0.0	45.2
売上高前年同期比	▲ 54.8	▲ 12.9	41.9
仕入単価前期比	▲ 64.5	▲ 71.0	▲ 6.5
利益率前期比	▲ 29.0	▲ 58.1	▲ 29.1
資金繰り前年同期比	▲ 22.6	▲ 29.0	▲ 6.4
従業員前年同期比	3.2	0.0	▲ 3.2
業況前期比	▲ 51.6	▲ 25.8	25.8
業況前年同期比	▲ 58.1	▲ 35.5	22.6
今後3ヶ月間の業況見通し	▲ 48.4	▲ 48.4	0.0

[企業コメントより]

- ・円安の影響が大きいと思います【菓子製造販売】
- ・弊社は小売業のため、消費者の買物行動が活発になれば、業況としてはプラスとなります【化粧品等】
- ・Withコロナになるよう期待します(コロナ状況見つつも経済再開)【肉加工品販売】
- ・コロナの感染状況は落ち着いてきたが、物価の上昇が大きく、見通しは良いとは言えない【飲料販売】
- ・飲料やアルコールが夏過ぎて値上げになるので資金繰りがより一層大変になると思います【飲料販売】
- ・経費の上昇、仕入単価の上昇等(を懸念)【米穀雑貨販売】
- ・仕入れ単価上昇、その他条件(も)厳しくなる【化粧品等販売】
- ・仕入れ原価高騰、資材費・人件費・輸送コストの上昇により利益見通しが悪いため【フラワーショップ】
- ・中国生産品の入荷しだいで変わる【嗜好品販売】

サービス業	前期(1~3月期)	今期(4~6月期)	比較増減
売上高前期比	▲ 28.0	6.6	34.6
売上高前年同期比	▲ 40.0	▲ 1.6	38.4
仕入単価前期比	▲ 66.0	▲ 63.9	2.1
利益率前期比	▲ 64.0	▲ 44.3	19.7
資金繰り前年同期比	▲ 30.0	▲ 26.2	3.8
従業員前年同期比	▲ 22.0	▲ 6.6	15.4
業況前期比	▲ 46.0	▲ 11.5	34.5
業況前年同期比	▲ 54.0	▲ 6.6	47.4
今後3ヶ月間の業況見通し	▲ 28.0	▲ 14.8	13.2

[企業コメントより]

- ・人件費の節減(1人減、0.5人増)(で対応)【情報サービス】
- ・原油価格、物価の高騰で先行きが不安【運送業】。
- ・地元で自動車の生産が低迷している(部品欠品の影響)ため、苦しい状況の中にいます。取引先では7月からもっと良くなると言っています。期待を裏切らないといいのですが【運輸業】
- ・見通しが見つからない【運輸業】
- ・4月~5月にかけて9連休があったため(売上減)【飲食店】
- ・エネルギー関連、原材料高が経営を圧迫している状況【広告等】
- ・なかなか以前のように夜のお客様のご来店が増加していない状況です。様々なものが値上がりして仕入が大変です【レストラン】

- ・前期や前年同期はまん防などの時短要請のため、売上が見込めなかった。今期は時短がなくなり、営業上は自由になっている。しかし、長らくの時短要請がお客様の購買行動を変えているようだ。夜8時以降のご来店は以前より少なくなっている。ゴールデンウィークも例外ではなかった。
- ・土日を中心に徐々にお客様のご来店は戻っているが、遅い時間のご来店が戻るのはまだしばらく先なのでは。時短協力金が入ったお陰で資金繰りが持ちこたえた部分は大いにあった。
- ・今後は、時短要請も協力金も無いと予想するので、より気を引き締めて商売に取り組みたい【レストラン】。
- ・コロナによる人の移動制限による不況。ウクライナ戦争による石油及び小麦等の物価上昇による仕入価格の上昇【飲食店】
- ・仕入単価(原材料)が高騰しているのが、5月、6月に顕著に出てきました。値上げに踏み切る方向で考えています。
- ・年末にどうにか会社関係の宴席等回復してほしい【飲食サービス】
- ・電気・ガス料金の上昇で影響が出ています【理容サービス】
- ・原料高を背景に推移してまいりましたが、5月連休後より全ての金属屑が下落してしまい、リーマンショック後の様になってしまうかと思いました。しかし現時点では15%下落程度で落ち着いています。製造業が通常生産ではなく、工場からの屑発生は今も少ないために、製鋼メーカー等も原料確保を第一と考え現在程度の下げで納めている状況です。今後も生産が上がる為には輸入部品と半導体の確保が必須です【資源回収】
- ・仕入品の値上がり販売価格に転嫁できない。夜の宴会が思うように戻ってこないが、客数は前年より増加している。ただし、客単価は前年より減少。【飲食店】
- ・コロナが落ち着き、少しずつ日常が戻って来た感触はあるが、食材などの仕入れ価格が暴騰しており、頭を抱えている。仕入れ値が上がれば売値を上げれば済むことではあるが、せっかく戻って来てくれた顧客を裏切るようではなかなか値上げに踏み切れず、コロナの次の問題に直面している。売上が上がっても経費がそれ以上に上がっているので、業況が良いとは全く言えない。そして、仕入れ業者は一度上げた価格はほとんど下げてこないで、今後の業況の見通しも明るくはないだろう【飲食店】
- ・前期まん延防止等重点措置の為、殆ど営業できていないので正直何とも言えないです【バー】
- ・部品不足による工場休業による所得の減少(により来店客減少)【理容サービス】
- ・仕入れの値上げ幅が大きい一方で、商品価格に転嫁できないのがキツイ。がんばってもがんばってもキビシイ状況【居酒屋】
- ・新型コロナにおびえている状況続く【介護サービス】
- ・夜の営業が全体的に人の動きが悪い。仕入れ単価が上がり利益率が悪い【ラーメン店】
- ・前期、前年同期共に時短営業だったため、今期の売上高は増加している。業況については、仕入単価は上昇しているが、値上げを行い横ばい。今後3か月間は更なる仕入単価の上昇と外食自粛の予測のため悪い【ラーメン店】
- ・飲食店も値上げを実施せざるを得ない状況に。お客様の反応がどのようになるか不安【和風料理】
- ・とにかく値上げ値上げで大変です【ラーメン店】
- ・6月1日にコロナの警戒レベルが下がったため、グループでの会食(3~4人)が増えました。
- ・じゃがいも、玉ねぎ等の仕入れ価格がびっくりする位上がりました。早く落ち着いてくれることを願うばかりです【喫茶店】

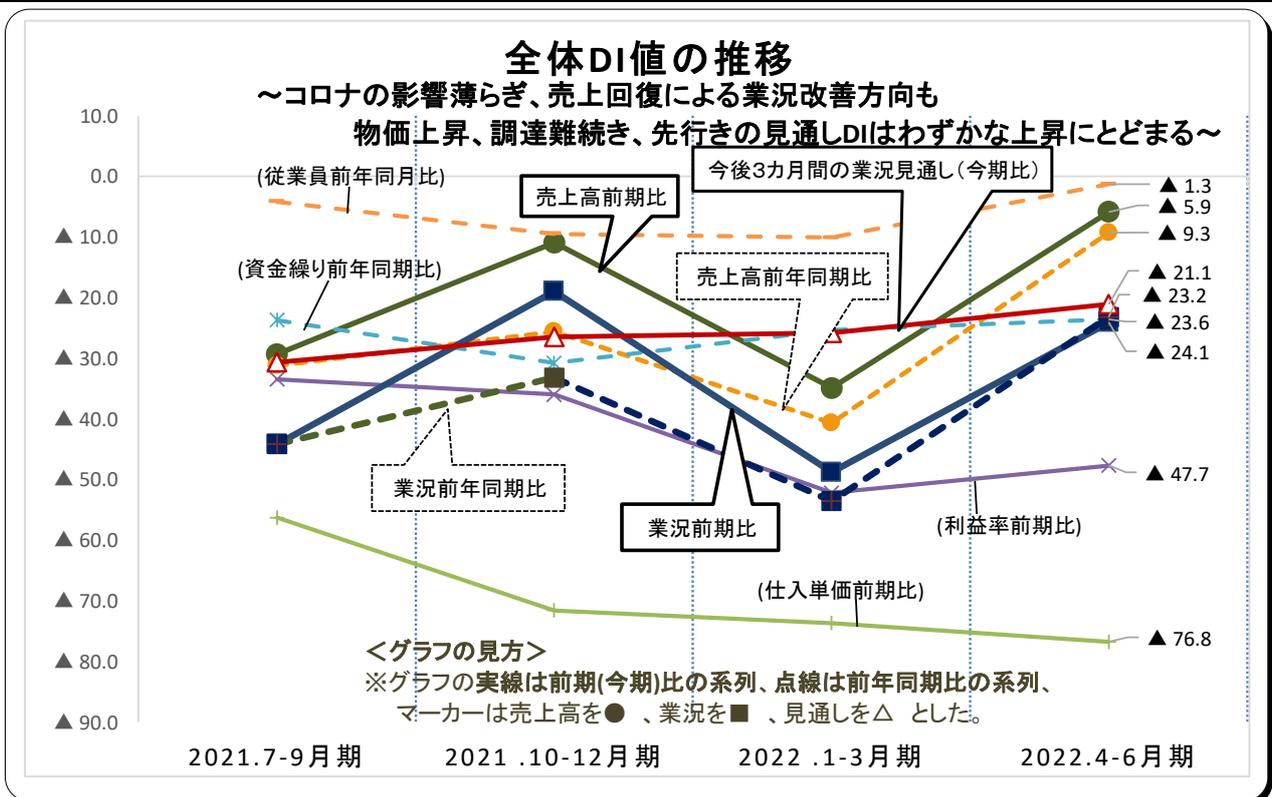
### (3) 全体DI値について

全 体 D I 値	前期(1～3月期)	今期(4～6月期)	比較増減
売上高前期比	▲ 34.9	▲ 5.9	29.0
売上高前年同期比	▲ 40.7	▲ 9.3	31.4
仕入単価前期比	▲ 73.7	▲ 76.8	▲ 3.1
利益率前期比	▲ 52.2	▲ 47.7	4.5
資金繰り前年同期比	▲ 25.4	▲ 23.6	1.8
従業員前年同期比	▲ 10.1	▲ 1.3	8.8
業況前期比	▲ 48.8	▲ 24.1	24.7
業況前年同期比	▲ 53.6	▲ 23.2	30.4
今後3ヶ月間の業況見通し	▲ 25.8	▲ 21.1	4.7

### (4) 動向について

- ・4-6月期は前期・前年同期にあったコロナ感染拡大が落ち着き、売上高DIは全業種で上昇した。このため、業況DIは依然マイナス水準ながら、前期・前年同期比ともに全ての業種で上昇した。
- ・業種別にみると、輸送機器・その他製造業・小売業・サービス業は売上DI、業況DIともに大幅に上昇した。また利益率DIは、物価上昇続き卸売業と小売業で低下も、他の業種では上昇している。
- ・一方で今後3カ月間の見通しDIは、全体ではごくわずかな上昇を予想。今期の仕入単価DIが▲76.8と8期連続で低下(価格上昇)するなど物価上昇、調達難の状況は厳しく、先行きを慎重にみている。

全 体 D I 値 の 推 移	2021.7-9月期	2021.10-12月期	2022.1-3月期	2022.4-6月期
売上高前期比	▲ 29.3	▲ 10.9	▲ 34.9	▲ 5.9
売上高前年同期比	▲ 31.2	▲ 25.6	▲ 40.7	▲ 9.3
仕入単価前期比	▲ 56.3	▲ 71.6	▲ 73.7	▲ 76.8
利益率前期比	▲ 33.5	▲ 36.0	▲ 52.2	▲ 47.7
資金繰り前年同期比	▲ 23.7	▲ 30.8	▲ 25.4	▲ 23.6
従業員前年同期比	▲ 4.2	▲ 9.5	▲ 10.1	▲ 1.3
業況前期比	▲ 44.2	▲ 19.0	▲ 48.8	▲ 24.1
業況前年同期比	▲ 44.2	▲ 33.2	▲ 53.6	▲ 23.2
今後3ヶ月間の業況見通し	▲ 30.7	▲ 26.5	▲ 25.8	▲ 21.1



#### (4) 比較資料編

当所調査のDI値をもとに、同様の景況調査を行っている機関とのデータ比較を行った。

(なお、日本商工会議所のLOBO調査については毎月調査となっているため、1～3月の平均値でDI値を算出)

##### ①売上高前期比DI (「増加」と答えた割合－「減少」と答えた割合)

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	▲ 8.2	▲ 5.8	-	-
建設業	▲ 15.9	▲ 13.8	-	-
卸売業	▲ 17.9	▲ 3.3	-	-
小売業	0.0	▲ 17.3	-	-
サービス業	6.6	0.8	-	-
全体	▲ 5.9	▲ 7.7	-	-

##### ②売上高前年同期比DI (「増加」と答えた割合－「減少」と答えた割合)

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	0.0	-	▲ 1.6	2.8
建設業	▲ 34.1	-	▲ 23.4	1.4
卸売業	▲ 7.2	-	▲ 5.3	
小売業	▲ 12.9	-	▲ 19.9	
サービス業	▲ 1.6	-	0.0	1.7
全体	▲ 9.3	-	▲ 9.1	

(↑非製造業という括り)

##### ③仕入単価前期比DI (「下降」と答えた割合－「増加」と答えた割合)

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	▲ 74.0	-	▲ 81.1	-
建設業	▲ 93.2	-	▲ 83.4	-
卸売業	▲ 92.9	-	▲ 76.0	-
小売業	▲ 71.0	-	▲ 66.0	-
サービス業	▲ 63.9	-	▲ 60.6	-
全体	▲ 76.8	-	▲ 72.4	-

(仕入単価・前年同期比)

##### ④利益率前期比DI (「好転」と答えた割合－「悪化」と答えた割合)

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	▲ 42.5	▲ 26.8	▲ 28.3	▲ 12.2
建設業	▲ 47.7	▲ 36.0	▲ 34.9	▲ 6.4
卸売業	▲ 57.1	▲ 17.4	▲ 19.8	
小売業	▲ 58.1	▲ 36.5	▲ 32.9	
サービス業	▲ 44.3	▲ 26.1	▲ 20.2	▲ 8.0
全体	▲ 47.7	▲ 29.5	▲ 27.3	

(採算・前年同期比) (採算・前年同期比) (経常利益・前年同期比)

##### ⑤資金繰り前年同期比DI (「好転」と答えた割合－「悪化」と答えた割合)

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(全規模)
製造業	▲ 15.1	▲ 10.8	▲ 14.3	10.0
建設業	▲ 29.6	▲ 8.7	▲ 9.8	12.0
卸売業	▲ 25.0	▲ 7.6	▲ 13.8	
小売業	▲ 29.0	▲ 19.4	▲ 23.3	
サービス業	▲ 26.2	▲ 10.9	▲ 17.9	12.0
全体	▲ 23.6	▲ 12.3	▲ 16.3	

(前期比)

(直近比)

⑥従業員前年同期比DI（「増加」と答えた割合－「減少」と答えた割合）

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	▲ 5.5	▲ 2.6	－	－
建設業	2.3	▲ 2.6	－	－
卸売業	14.3	▲ 1.2	－	－
小売業	0.0	▲ 3.3	－	－
サービス業	▲ 6.6	▲ 4.4	－	－
全体	▲ 1.3	▲ 3.3	－	－

⑦業況前期比DI（「好転」と答えた割合－「悪化」と答えた割合）

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	▲ 20.5	▲ 12.7	－	▲ 4.0
建設業	▲ 38.6	▲ 14.7	－	9.0
卸売業	▲ 35.7	▲ 9.5	－	1.0
小売業	▲ 25.8	▲ 23.9	－	▲ 17.0
サービス業	▲ 11.5	▲ 9.9	－	▲ 27.0
全体	▲ 24.1	▲ 14.4	－	▲ 2.0

（サービス業は宿泊・飲食の数字）

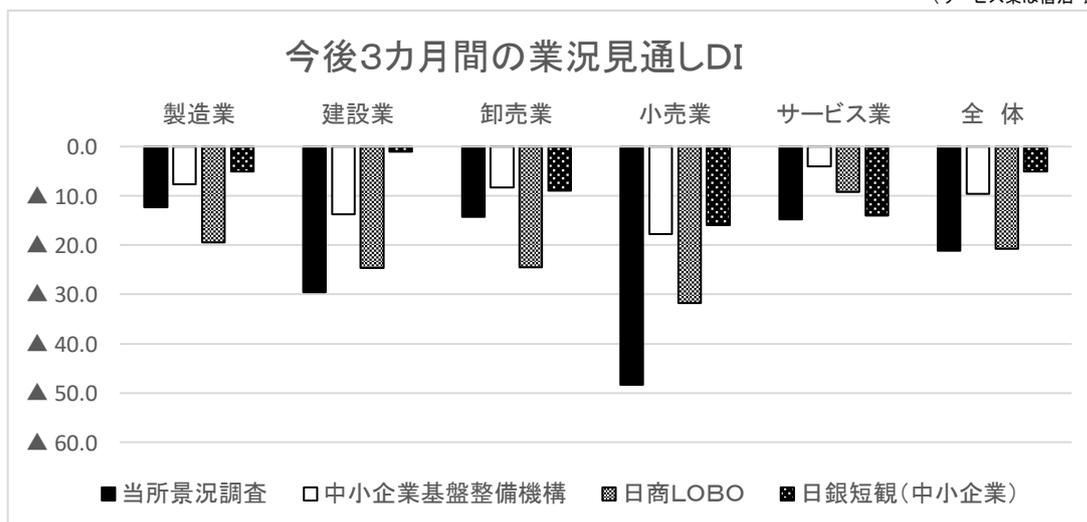
⑧業況前年同期比DI（「好転」と答えた割合－「悪化」と答えた割合）

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	▲ 17.8	－	▲ 17.4	－
建設業	▲ 36.4	－	▲ 29.2	－
卸売業	▲ 39.3	－	▲ 23.5	－
小売業	▲ 35.5	－	▲ 34.5	－
サービス業	▲ 6.6	－	▲ 11.6	－
全体	▲ 23.2	－	▲ 22.1	－

⑨今後3ヶ月間の業況見通しDI（「好転」と答えた割合－「悪化」と答えた割合）

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	▲ 12.3	▲ 7.7	▲ 19.4	▲ 5.0
建設業	▲ 29.6	▲ 13.8	▲ 24.6	▲ 1.0
卸売業	▲ 14.3	▲ 8.3	▲ 24.5	▲ 9.0
小売業	▲ 48.4	▲ 17.7	▲ 31.7	▲ 16.0
サービス業	▲ 14.8	▲ 4.0	▲ 9.2	▲ 14.0
全体	▲ 21.1	▲ 9.6	▲ 20.8	▲ 5.0

（サービス業は宿泊・飲食の数字）



# 太田商工会議所管内景況調査報告書

～調査・分析・発行～

太田商工会議所

〒 373-8521

群馬県太田市浜町3-6

TEL 0276 (45) 2121

FAX 0276 (45) 1088

URL <http://www.otacci.or.jp>

Mail [info@staff.otacci.or.jp](mailto:info@staff.otacci.or.jp)

2022年（令和4年）7月21日 発行